

科学絵本『かもつせんのいちにち』を小中学校へ寄贈致しました。

～中国地方海運組合連合会～

①中国新聞 2018年5月24日（朝刊）

船員のお仕事知って

人手不足に悩む瀬戸内海の手海運会社や中国運輸局などをつくる中国地区内航船員対策協議会は23日、三原市内の小学20校に科学絵本「かもつせんのいちにち」40冊を贈った。今後、県内の全小学校に約千冊を寄贈する。

同協議会の蔵本由紀夫会長や中国運輸

中国地区対策協

三原の小学校に貨物船の絵本



「かもつせんのいちにち」を手にする蔵本会長（左）と梶山教育長

局の職員が市役所を訪れ、市教委の梶山幸範教育長に絵本を手渡した。蔵本会長が「船員の仕事を子どもに知ってもらえれば」と話すと、梶山教育長は「工場見学などを通じて船により興味を持たせたい」と答えた。

絵本は月刊「かがくのとも」の3月号で福音館書店が出版。船員の仕事や貨物船の役割を分かりやすく紹介している。同協議会が購入した。（中島大）

②山陽新聞 2018年6月26日

海運業へ興味持って



笠岡市に絵本や漫画を贈った県西南海運組合の山河理事長（左から3人目）ら

笠岡の小中に 絵本や漫画寄贈

笠岡市内の内航海運業者でつくる県西南海運組合（山河義弘理事長）は21日、市内の小中学校に海運業の仕事を紹介する絵本や漫画など計180冊を寄贈した。小学生向け絵本「かもつせんのいちにち」、中学生向け冊子「What is 内航海運?」、漫画「これが内航海運だ!」の3種類。この日、山河理事長ら4人が市役所を訪れ「海運業に興味を持っ

（山本貴之）